

| 主な意見 | 対応状況 |
|---|---|
| <p>（学生からの意見について）</p> <p><就職先として県外企業を選択した理由について></p> <p>一度県外に出てみたいという気持ちがあったから。 交通インフラが充実しており、利便性が高いことや趣味などプライベートが充実している。 長崎以外の様々な景色を見て、自分の知見を広げたいとの思いがあった。 企業の事業内容や社風により企業を決定した。 自分の知識を生かせる企業が県内になかったから。 働きたい企業が県外であったから。 企業選考の中で、フィードバックや学生同士の交流も多くあり、選ぶきっかけとなった。</p> <p><ながさきが選ばれるために必要なものについて></p> <p>専門性が生かせる企業があれば、長崎に留まってくれる若者も増えるのではないか。 地元のスポーツを応援したいから長崎に留まりたいと思っている人たちの受け皿になるような魅力的な企業があれば、増えていくのではないか。 遊べる商業施設などがもっとあればいいのではないか。 町おこしなど地域活動に取り組んでいる人たちとの交流の場があると、残りたいと思う若者も出てくるのではないか。</p> | <p>・県外に出てみたいとの考えの学生の気持ちも尊重しながら、こうした学生が将来長崎に帰ってきたいと思った時、県内でチャレンジできる仕組みを関係部署とともに考えてまいります。</p> <p>・交通インフラの充実も重要視されているため、県内の道路整備状況や西九州新幹線延伸の取組を学生に伝える工夫について関係部署とともに検討していきます。</p> <p>・企業の社風を重視する意見も多くありましたので、県内企業の社風・雰囲気などを学生に伝える工夫や県内企業にそうした学生の考えを伝えております。</p> <p>・長崎市をはじめとして本県が100年に一度の変革期を迎え、魅力あるまちづくりに官民が取り組んでいることを学生に伝えてまいります。</p> <p>・各地域でまちづくりに取り組んでいる方々との交流の機会を設けるため、大学と検討していきます。</p> <p>・県外企業が採用に関する動きが早いとの意見がありましたので、機会をとらえて、県内企業などに伝えております。</p> |
| <p>（教職員からの意見について）</p> <p><学生の就職先決定の要因について></p> <p>業界、勤務地に加え社風（人間関係とか社内の雰囲気）も大きな要因となっている。 生活面の利便性や企業の魅力から就職先を選んでいる。 自分が働いて住む町として勤務地を選んでおり、そうした中で長崎が選ばれていない。 学生は自分のやりたい仕事があるかどうかという点で就職先を選択している。 自分で働くようになった機会に県外に出たいと思っている学生もいる。 自分のスキルアップを考えて、県外を選択している学生もいる。 会社に入って何ができるのかということで企業を選択している。</p> <p><学生への支援について></p> <p>県内企業の良さなど情報をきちんと学生に提供していくことが大切。 長崎県は、まちづくりを今熱心にやっているということに魅力を感じている学生もおり、学生が今後残る可能性もあるのではないか。 県外企業の方が採用に関する動きが早いので、県内企業も早めに学生を確保していくということも必要。 企業インターンシップ後の企業に興味を持つ学生もいるため、その後の関係性の構築も必要と考えている。 県外に出た人を呼び戻す人材の還流システムがあれば、人口減少対策にもつながる。</p> | <p>・全体的にやりたい仕事や自分のスキルを生かせる仕事ができることを基準に就職する企業を選択しているといった意見が多くありましたので、大学の就職課や県内就職支援員などが学生のスキルを活かせる企業を開拓し、授業やゼミを活用し学生により多くの県内企業情報を伝えるよう取り組んでおります。</p> <p>・また、こうした様々な意見を参考に県内定着のためにどのような取組が必要なのか検討し、学生に寄り添った就職支援の充実が図れるよう県としても県立大学と連携しながら今後も取組を推進してまいります。</p> |